

行政改革推進会議有識者議員懇談会（第5回） 議事要旨

【開催日時】

平成26年10月15日（金）17：45～18：50

【場所】

合同庁舎4号館第3特別会議室

【出席者】

| | | |
|-----|--------|---|
| 副議長 | 有村 治子 | 行政改革担当大臣 |
| | 赤澤 亮正 | 内閣府副大臣 |
| | 越智 隆雄 | 内閣府大臣政務官 |
| 構成員 | 秋池 玲子 | ボストンコンサルティンググループシニア・パートナー& マネージング・ディレクター |
| | 加藤 淳子 | 東京大学大学院法学政治学研究科教授 |
| | 小林 栄三 | 伊藤忠商事株式会社取締役会長 |
| | 田中 弥生 | 独立行政法人大学評価・学位授与機構教授 |
| | 土居 丈朗 | 慶應義塾大学経済学部教授 |
| | 畠中 誠二郎 | 中央大学総合政策学部教授 |
| | 森田 朗 | 国立社会保障・人口問題研究所長 |
| | 渡 文明 | JXホールディングス株式会社名誉顧問 |

【議事次第】

- 1 開会
- 2 行政改革担当政務挨拶
- 3 議題
 - (1) 行政事業レビューの秋以降の進め方について
 - (2) 国・行政のあり方に関する懇談会の取りまとめの普及・展開方策について
- 4 閉会

【配布資料】

- 資料1 秋の行政事業レビューの進め方について（案）
- 資料2 国・行政のあり方に関する懇談会の取りまとめの普及・展開方策
- 参考資料 国・行政のあり方に関する懇談会の取りまとめ（ポイント）

【議事の経過】

- 初めに、有村行政改革担当大臣、赤澤内閣府副大臣及び越智内閣府大臣政務官から、以下の内容のあいさつがあった。

（有村行政改革担当大臣）

- ・ 有識者議員の皆様には、昨年1月の行政改革推進会議発足以来、行政事業レビューや独立行政法人改革など、行政改革に関わる審議に精力的に御参画いただき、感謝を申し上げます。
- ・ 国民の皆様からお預かりしている税金を無駄にすることなく、行政機能や政策効果を最大限発揮させるため、行政改革に不断に取り組むとともに、その成果を国民の皆様にご理解いただけるよう説明責任を果たしていくことが、極めて重要。
- ・ 「行政事業レビュー」をさらに徹底するため、本日は「秋のレビュー」を始めとする今後の進め方について御議論いただきたい。
- ・ また、「国・行政のあり方に関する懇談会」の成果の普及・展開方策について、御報告させていただく。

（赤澤内閣府副大臣）

- ・ 有識者議員の皆様には、行政改革に関する豊富な御見識をもとに、政府の行政改革に対して、忌憚のない御意見をたまわりたい。

（越智内閣府大臣政務官）

- ・ 有識者議員の皆様には、御指導・御鞭撻をお願いしたい。

- 会議の前半は、行政事業レビューの秋以降の進め方について、議論を行った。まず、土居議員が資料1の提案を行い、その後、議論に移った。

（有識者議員の主な発言内容）

- ・ 外交や安全保障等については、政策目標が立てられないのでPDCAを回せないとの説明がなされることがあるが、そのような説明は甘受すべきではない。
- ・ 事業が省庁間で類似している場合には各省をまたがった形での再編を進めることを検討すべき。事業の予算は一律カットするのではなく、伸ばすべきところは伸ばすべき。
- ・ PDCAサイクルの徹底が重要。計画がどれだけ具体的か、実現可能性をどれだけ示せるかが重要。
- ・ レビューの定着に伴い、レビューされる側が慣れてきたのではないか。レビューする側も新たな視点を持って進化しながら指摘することが必要。個別事業のみならず施策を俯瞰する視点から検証することも必要。

- ・ 「民でできることは民でやる」ことが重要。昨年の秋レビューで指摘された事業が補正予算で復活したと報道されたが、今回は誤解を招くような取り上げ方をされないようにして欲しい。
- ・ 内閣の重要施策も例外とすることなく「秋のレビュー」の対象とすることは、重要施策に対する国民の信頼を得ることにもつながり大変意義深い。
- ・ 本年も昨年に引き続き「秋のレビュー」を実施すべき。基金についても余剰資金の有無等について検証すべき。内閣の重要施策に対する「秋のレビュー」は上げ足をとるためのものではないということを理解してもらう必要がある。

○ 関連して、有村行政改革担当大臣より、以下の内容の発言があった。

（有村行政改革担当大臣）

- ・ 担当府省に後ろめたさや逡巡がある事業は長続きしないと思っている。事業を行う前にその事業が適切かどうか、5年後、10年後の後世の評価で適切とされるか、などから選別すべき。
- ・ 秋のレビューは、信用力をより確かなものとなるようにしていくことが重要。
- ・ レビューの実効性を高めるためには、レビューする立場とレビューされる立場双方が正々堂々主張を行いながら対話し、納得と共感が重要である。
- ・ 私は行政改革を含め7つの分野を担務しているが、有識者議員の皆様には、これら分野についてもよりメリハリがつくよう、遠慮なく御指摘いただきたい。

○ 会議の後半は、国・行政のあり方に関する懇談会の取りまとめの普及・展開方策について、議論を行った。

まず、資料2に沿って、行政改革推進本部事務局から説明を行い、その後、議論に移った。

（有識者議員の主な発言内容）

- ・ 行政改革に関心の薄い方々にも伝わるよう、戦略的なPRや議論を行うことが重要。
- ・ 女性の活躍促進や少子化対策のカギを握っているのは、20代から40代の女性であるので、それらの方々とも積極的に議論すべき。

○ 最後に、有村行政改革担当大臣から、御礼の言葉があった。

（以上）

（文責：行政改革推進本部事務局 速報のため事後修正の可能性あり）